

2022 全日本大学女子選抜駅伝(富士山女子駅伝)

開催日:2022年12月30日(金)

場所:静岡県富士市、富士宮市

種目	距離	名前	学年	通過着順	区間着順	記録	備考
総合	43.4km	関西外国語大学		総合14位 (24チーム中)		2時間29分50秒	8年連続8回目の出場 優勝 名城大 2時間21分56秒 2位 大阪学院大 2時間25分07秒 3位 日本体育大 2時間25分21秒
1区	4.1km	礼場 美桜	1年	21	21	14分02秒	
2区	6.8km	山岸 みなみ	3年	23	23	22分37秒	
3区	3.3km	佐藤 桜子	2年	23	16	10分47秒	
4区	4.4km	清水 萌楓	3年	22	18	15分09秒	
5区	10.5km	三輪 南菜子	2年	19	9	36分14秒	
6区	6.0km	武田 芽依	2年	17	14	20分48秒	
7区	8.3km	矢尾 桃子	4年	14	5	30分13秒	

【山本コメント】

10月全日本大学女子駅伝(仙台)と並び、大学女子駅伝日本一を決める本大会に、8年連続8回目の出場を果たした。仙台では、全日本大学女子駅伝としては過去最高位の12位できたが目標の8位を達成できなかったため、今回の順位目標を8位と設定してレースに臨んだ。レース当日の気象条件は、富士山全景が現れない程度に雲がかかる曇り空、風は穏やかであり、よいレースコンディションの中で行われた。

レースは、3区終了までは23位とやや苦しんだが、その後諦めずに順位を盛り返し、14位まで順位を上げてフィニッシュした。今年の仙台の12位、昨年の富士山の11位よりやや順位を下げたのは悔しいところではあるが、諦めずに14位まで追い上げたチーム力を来年のチームに引き継ぎ、来年の全日本大学女子駅伝、富士山女子駅伝では、チーム発足から持ち越しの目標となっている8位以内を達成できるよう、新チーム体制のもとで準備していきたい。また、日本陸連から受賞したBest Think賞の活動も同じモチベーションで力を入れ、車の両輪として活動を進めていきたい。

今年の本大会は、可能な限りコロナ前の状況に戻すという大会主催者の意思の下、運営協力の皆様、沿道応援の皆様、テレビ、SNSなどを通じた応援の皆様のご理解、ご協力によって活気ある大会となり、学生たちにとってかけがえのない機会となった。今後も、駅伝レースの機会を通して、また日々の様々な活動を通して、感謝の気持ちを返していきたいと思えます。